



さわやかな汗を流して 町内の親子が登山を体験 トムソーヤの冒険in大高根山

やまがた百名山に数えられる大高根山に登るトムソーヤの冒険in大高根山が、6月4日(土)に行われ、町内親子など26人が参加しました。町で一番高い山とされる大高根山は標高542.9mで、大高根山の会のメンバーが「新道山の神コース」など3つの登山道を整備しています。

この日は、遊Be隊(柴田和徳隊長)や大高根山の会(遠藤廣吉代表)などの指導の下、頂上を目指してさわやかな汗を流しました。参加者は、眺望のよい北の峰(標高534m)や巨大松を見ることができる「新道山の神コース」を登り、およそ1時間で大高根山の山頂に到着しました。山頂からは大石田の街並みが一望でき、参加者は汗をぬぐいながら眺めを楽しんでいました。帰りは古くから利用されてきた山道の「古道杉林コース」を下り、帰路につきました。



全国でも貴重な混生地 ギフチョウなどの卵を 児童が観察

町内小学校の4年生児童を対象としたギフチョウ観察会が5月19日(木)に川前地区で開催されました。

これは、子どもたちに蝶の観察をとおして、生命尊重や環境保全の精神を養ってもらおうと、町教育委員会などで構成する大石田町地域学校協働本部が企画したものです。

当日は児童たち39人が参加し、講師の町立歴史民俗資料館の大谷俊継学芸員から指導を受け、ヒメギフチョウの卵を観察しました。

参加した伊藤湊音さん(南小)は「卵は白っぽくて真珠みたい。授業で見たアゲハチョウの卵に似ていました」と話していました。



未来を担う子どもたちへ支援金寄贈 尾花沢中央ロータリークラブ

尾花沢中央ロータリークラブ(岩崎雄策会長)が5月25日(水)大石田小学校を訪れ、「未来を担う子供支援金」10万円を寄贈しました。同クラブの岩崎雄策会長は「未来を担う子どもたちのために活用してほしい」と話していました。

大変ありがとうございました。

＼ ありがとうございます ノ



「すべてに時がある」 瞬間の時間芸術で観客を魅了

春の大石田AIR滞在アーティスト「ゆきつばき」によるダンス作品発表会が、6月5日(日)に虹のプラザ「なないろホール」で行われました。当日は公演を見ようと町内外から約60人が会場を訪れ、ゆきつばきの松崎友紀さん、椿五郎さん、地域おこし協力隊の大橋武司隊員による様々な「時間」を表現したダンスを満喫しました。

参加した高橋恵美子さん(次年子)は「終盤でヴォルガの舟歌が流れたシーンが印象的で、ある絵画が彷彿させました。自分なりに考察できて面白かった」と話していました。



粘り強くなが〜い自然薯 児童が生長願う

町内小学校の6年生児童を対象とした自然薯の定植イベントが5月27日(金)に行われ、町特産品の自然薯の植え付けを体験しました。

これは、子どもたちに自然薯の栽培をとおしてふるさとへの愛着を深めてもらうことなどを目的に大石田町地域学校協働本部が企画したもので、大石田町新作物開発研究会(海藤明会長)の協力により実施されたものです。

当日は雨天となりましたが児童41人が参加し、研究会のメンバーに植え付け指導を受けながら、種芋の植え付けを行いました。



園児や児童が 伝統的な田植えを体験

町内保育園の園児や小学校の5年生児童たちが手植えによる田植えを体験しました。そのうち、大石田保育園では5月25日(水)に(株)今野商店(今野寿洋代表取締役)の協力で手植えによる田植えを体験しました。

この田植え体験は、今年で3年目になり、園児たちは初めて入る田んぼの感触にはしゃぎながら、泥だらけになって苗を植え付けていました。参加した齋藤希星さんは「楽しかったです。田んぼの近くでカエルを見つけました」と話していました。